

2011.10.06／経済産業省

RIETI ([独]経済産業研究所) *BBL* (Brown Bag Lunch) セミナー

【通商産業政策史シリーズ】

Policy History Series

資源エネルギー政策

Policies on Natural Resources and Energy

(1973－2010)

橘川 武郎(きっかわ たけお)

一橋大学大学院商学研究科教授

kikkawa09@gmail.com

今、資源エネルギー政策に求められる3つの視点

(1) 現実性

- ・脱原発依存は世論⇒「リアルな原発の減らし方」の立案
- ・原発推進派に欠けたリアリティ、
原発反対派に欠けたポジティブな対案

(2) 総合性

- ・原子力か再生エネか⇒本当の焦点は火力のエネ政策
- ・分散型電源/小規模事業者⇔化石燃料調達/大規模事業者

(3) 国際性

- ・韓、中、印、露が原発拡大する状況下での日本の原子力
- ・CO2削減は、国内/原子力から海外/石炭火力へ

『通商産業政策史10 資源エネルギー政策』の特徴

* 現在からの逆照射

- ・2002エネルギー政策基本法の3つのEの史的展開
Energy security, Economy, Environment
- ・「3.11」の取り扱い:個人署名で「付記」(2011.4.12)を掲載

* 対象時期は1973(資工庁発足・石油危機)～2010

- ・シリーズ全体の対象時期(1980～2000)を拡張

* 総合性・包括性の追求

- ・1人で執筆:可能な限り個人的見解も書き込む
- ・全課長からヒアリング:執筆原稿との事後調整も

『通商産業政策史10 資源エネルギー政策』の構成

- ・はじめに
- ・第1部 エネルギー動向と政策遂行体制
 - 第1章 国際エネルギー動向／第2章 国内エネルギー動向
 - 第3章 資源エネルギー政策の遂行体制
 - 第4章 資源エネルギー政策の関連予算
- ・第2部 資源エネルギー政策の展開
 - 第5章 総合政策と国際協力／第6章 石油・天然ガス政策
 - 第7章 石炭政策／第8章 鉱物資源政策／第9章 電力・原子力政策
 - 第10章 ガス政策／第11章 省エネルギー政策
 - 第12章 新エネルギー政策
- ・おわりに
- ・付 記

第1部 エネルギー動向と政策遂行体制(第1～4章)

- * エネルギー需給の概観(第1～2章)
 - ・2010年版エネルギー白書にもとづき、
エネルギー安全保障上の危機に注目(第2章)

- * 資源エネルギー政策の推進体制に言及(第3～4章)
 - ・組織体制(第3章)
 - ・予算制度(第4章)

第2部第5章 総合政策と国際協力

- * 総合的施策・エネルギー基本計画を網羅
- * 「3つのE」間における重点の置き方の変化
 - Energy Security (1973～82) ⇒
 - + Economy (1983～88) ⇒
 - + Environment (1989～2000) ⇒
 - 3Eの同時達成 (2001～03) ⇒
 - Energy Security (2004～08) ⇒
 - + Environment (2009～10)
- * グローバル、地域、2国間レベルでの国際協力

第2部第6章 石油・天然ガス政策

- * 日本石油産業の固有の脆弱性
 - ・①上流と下流の分断、②上流企業の過多・過小
- * 脆弱性克服の道
 - ・(1)下流企業の組織能力強化、(2)上流企業の水平統合
- * ナショナル・フラッグ・オイル・カンパニーの必要性
 - ・市場におけるplayerの視点
- * 「下流の技術力で上流を攻める」、コンビナート高度統合・・・

第2部第7章 石炭政策

* 三つの分野

(1) 国内石炭産業の構造調整

(2) 海外炭の安定供給確保

(3) クリーン・コール・テクノロジーの開発・普及

* 地球温暖化防止の「切り札」としての日本の石炭利用技術 ・「我が国クリーンコール政策の新たな展開2009」

第2部第8章 鉱物資源政策

- * JOGMEC(独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構)の成立で明らかになった旧金属鉱業事業団の先進性
- * 3段階方式による国内探鉱(239頁)
- * 海外資源開発への支援
- * レアメタル備蓄制度の整備
- * 鉱害防止技術の国際移転

第2部第9章 電力・原子力政策

- * 日本電力業の特質：民営主導方式
 - ・「黄金時代」から石油危機を経ての暗転
- * 「低廉な電気供給」の終焉⇒電力自由化⇒自由化抑制
- * 原子力政策
 - ・「光と影の交錯」から「原子カルネッサンス」へ
- * 原子力安全・保安院の発足
 - ・科学技術庁と通商産業省の機能の一元化のみを記述

第2部第10章 ガス政策

* 天然ガスの特性

- ・化石燃料のなかでは、「三つのE」の同時達成に最も近い

* 二つの分野

- (1)天然ガスの利用促進
- (2)ガス事業の制度改革

* 「天然ガスシフト」とその挫折

第2部第11章 省エネルギー政策

- * 「省エネルギーは地球を救う」
 - ・ 貧困と地球温暖化の双方と戦うことができる武器
- * 省エネルギー法の制定、改正
- * 部門ごと(産業・民生・運輸)の省エネルギー動向
- * セクター別アプローチの重要性

第2部第12章 新エネルギー政策

- * 石油代替エネルギー／再生可能エネルギー／新エネルギー
(406頁)
- * 代替エネルギー法の制定(1980)
- * 新エネルギー法(1997)
 - ⇒RPS法(2001)
 - ⇒自動車燃料へのバイオエタノール混入(2005)
 - ⇒エネルギー供給構造高度化法・非化石エネルギー法
(=代替エネルギー法の改正、2009)

おわりに

* 時期区分

- (1) 1973～78: Energy Security確保の緊急策
- (2) 1979～84: Energy Security確保の長期的施策
- (3) 1985～96: Economyが前面に
- (4) 1997～2010: Environmentが前面に
(2003以降はEnergy Security も加わる)

* 今後の資源エネルギー政策に求められるもの

- ①総合性、②国際性

執筆を終わっての反省

- * 歴史的記述の濃密さが不十分
 - ・(例)国内石炭産業の構造調整
- * 記述対象の相対化が(相当踏み込んだが)まだ不十分
 - ・原子力安全・保安院に関する記述
- * 国際的視点が不十分
 - ・『通商産業政策史』の枠組みでは難しい